

「アロンキユア® デンタル」の使用法例

⚠ 少量の水分で粘着します。

止血部位に適用するまでは、水分のない乾いた器具又はグローブで操作してください。

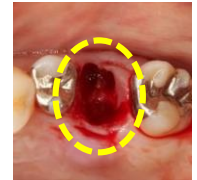
多量の水分は剥離につながります。

①製品の取り出し

- ◆ 乾いた器具又はグローブで袋から取り出してください。操作前は必ず器具や指の水分を拭き取ってください。

②抜歯窩辺縁部の血液の拭き取り

- ◆ 製品は適用箇所に余分な血液や唾液があると粘着力が低下します。
→ 適用する歯肉の余分な血液や唾液は軽く拭き取ってください。
- ◆ 極度に適用箇所が乾燥している場合は、軽く湿らせてください。



※ 干渉部位がある場合は製品に切れ込みをいれます。

隣在歯等に干渉する場合は、事前に製品を清潔なハサミやピンセット等で切れ込みを入れてください。抜歯窩に製品がしっかり触れるように合わせてください。



③圧着

- ◆ 抜歯窩を覆うように製品を適用し、(a) 速やかに乾いた手袋を用いて製品辺縁部をゆっくりと数秒押し付け、(b) 抜歯窩周辺の歯肉に十分圧着させてください。
- (c) 3way シリンジによる注水や濡れた綿球等で製品表面を濡らすと、他部位への誤接着を防止できます。



a



b



c

⚠ 一度濡れた製品は再粘着しません。適用後に位置をずらしたり置き直したりしないように注意してください。

⚠ 抜歯窩内に挿入せず、必ず抜歯窩表面及び周囲粘膜に圧着して止血するようにご注意ください。

④止血、消失

- ◆ 圧着しハイドロゲル化した製品で抜歯窩が覆われた後、製品上面や辺縁から血液が漏れ出ていないことが止血の目安となります。その後、数十分～数時間で溶解し、患部から消失します。
- ◆ 適用直後の強いうがいは製品が剥がれやすいので避けてください。
- ◆ 止血確認後は剥がれても問題ありません。剥がれた場合はそっと吐き出してください。
そのまま飲み込んだ場合でも、非吸収性のため自然に排出されます。



<抜歯後>



<適用後>



<翌日>

動画はこちら

